正副議長選挙に係る立候補者
所信表明会

（令和８年 11 月 26 日）

安 芸 高 田 市 議 会

議長選挙に係る立候補者所信表明文

議長・副議長選挙に係る立候補所信表明書　　（令和８年１１月２４日）

届出者　石　飛　慶　久　議員

先程、議長退任を終えたばかりですが、２年前に引き続き、議長立候補の所信表明を致します。

議長立候補の理由は、本市の議会内部の申し合わせ通り、２年で辞職しましたが、再出馬を妨げない事、又、議員任期は４年である事で、続けて議長に立候補いたしました。

それと、今の議会内の雰囲気が良いことです。議会人として其々の主義主張がおありと思いますが、其々の支持する政党を超え、又、ジェネレーションギャップを跳ね飛ばし、お互いの意見を尊重している所です。今の議会内の雰囲気を継続していきたいと思います。

前回の議会改革は「議員定数と報酬」と限定しました。議論をする前提には、議員並びに議会の役割を念頭に置き、充分に協議して頂きました。その事が、刺激となり、議会が活性化したと思っています。次回には、改めて「報酬」について、頂いた答申をさらに協議して頂き、報酬審議会に諮れる結論を出して頂きたいと思っています。

また、議員定数は次回改選時には、14 人となります。新たな委員会・特別委員会の体制を整える準備期間です。拙速に結論を出すのでなく、議会運営委員会が主体となって、２人減を想定した課題などから、どの様な体制が良いのかを協議して頂く事と考えています。

タブレットを導入し、１年が経ちます。目的はペーパーレス化でした。脆弱なネットには AI を利用したブラックハッカーが侵入する事案が世界的な問題になっています。タブレットが、審査や監査の最高な道具とは思いませんが、リースの更新時期に合わせて検討すべきと思います。今は、タブレットを利用しながら、運用に支障あれば見直していけばと思っています。

市民との懇談会・高校生との意見交換会を通じて、政策立案までは至りませんでしたが、常任委員会の活性化に繋がって行くと思っています。政策立案は、専門的知見などが必要でありますが、皆様と一緒に、粘り強く、見直しがあれば改善しながら継続したいと思います。

議会改革は、議会にとってはエンドレスの永遠のテーマです。

対外的には、安芸高田市議会議長として、県、国、各種協議会・同盟会、または広島県選出の国会議員の方々にお会いして、人のつながりが大切だと確信しました。要望活動すれば全て実現するとは思いませんが、根強く続ける事が必要であると考えます。２年で構築出来たであろう人脈を、出来れば継続したいと考えます。

議長一人では、議会は運営できません。皆様と共に一枚岩となって、百万一心の精神で前進したと考えています。石飛を信じて、皆様方の１票を投じて頂きます事、お願いしまして、私の議長立候補表明と致します。

（　　）

議長・副議長選挙に係る立候補所信表明書　　（令和８年 11 月 24 日）

届出者　　児玉史則　　議員

本市議会議長選挙への立候補にあたり私の決意と所信の一端を述べさせて頂きます。

市議会が存在する最大の目的は、多様な意思を市政に反映させ、地域の民主主義と

住民福祉の増進を実現することにあります。

そのためには市民に開かれ、親しまれ、信頼される議会への深化が必要であり

次の覚悟を以って議会改革と円滑な運営に取組んでまいります。

議会改革は大きく①監視機能の強化②政策立案機能の向上③市民参加の拡大

④議会運営の近代化が基本であり、これまで一問一答方式と反問権の導入や議会

基本条例の制定などに結果を出してきておりますが、一方で政策立案機能の向上や

市民参加の拡大には課題が見受けられてきております。

広く市民の声を集め、論点整理を行い各種調査を通じて政策提言・予算要望に結び付

け、その結果を市民の皆様に報告する政策形成サイクルを回す必要があります。

任期２年の限られた中ではありますが、その土台となる広聴・広報の強化に重点的に

取組み、市民参加の拡大を目指してまいりたいと思います。

一つ目は広聴活動の強化として各種団体やサイレントマジョリティの意見を

吸い上げるために、常任委員会の出張公聴会や開催場所を増やして車座対話を

行っていくことの仕組を設けてまいります。

二点目は市民の皆様から頂いたご意見の聞きっぱなしとならない仕組みを整えます。

常任委員会による所管事務調査事項等に市民アンケートや参考人招致などを組合わ

せ調査を行い、執行部に政策提言書が提出できるよう勧めてまいります。

三点目は議会報告会の開催です。各常任委員会で頂いたご意見の反映結果を報告する

場を設け、また所管事務調査事項などを報告の柱にすえ、今まさに議論している

内容に市民の知恵を借りる仕組みをつくれば、市民参加の意欲が高まるものと考えております。

次回改選後の定数減に向けた委員会構成の在り方や調査研究・報酬に関しては議会改革特別委員会を設け議論してまいります。特に広聴・広報に関しては、頂いたご意見に対し結果報告まで責任の持てる一体化した委員会が必要と考え一定の結論を出してまいります。また調査研究による議員の見識を高めるため、会派に対する政務調査費の創設を検討すべきと考えておりますし、前特別委員会からの懸案となっている議員報酬に関しても一定の方向性をお示しできればと思います。

以上これまで述べた改革案を実行し議会としての結束を高め、市民の期待に応えうる未来を、共に切り拓いてまいりたいと思いますので、議員皆様のご賛同とご支援を心よりお願い申し上げ立候補の挨拶とさせて頂きます。

副議長選挙に係る立候補者所信表明文

（　　）

議長・副議長選挙に係る立候補所信表明書　　（令和８年 11 月 25 日）

届出者　　秋田　雅朝　　議員

副議長選挙立候補に当たりまして、私の所信表明を行います。

２年前に副議長選挙における所信表明を行い、新人議員の意見に耳を傾け、経験を積まれた議員の意見と融合した議会運営を目指し、議会として最重要課題である「市民から信頼される議会」にするための「議会改革」が必要との見解で、議員各位のご協力を得ながら、議長の補佐と議員間あるいは執行部とのパイプ役になることを主体に取組んできたつもりです。今回もこの考え方に変わりはなく、議長の所信を基本に議員各位のご理解とご協力をお願いしながら、「議会改革」に取組んでいきたいと考えています。

「議会改革」を進めるにあたり見えてきたことの一つに、「議会基本条例の検証」があります。結果における課題がある点の抜粋では、「議員間の自由討議」があり、内容として「議員間で十分に議論する機会・仕組みが不足している」ことや「論点・争点の明確化」では「議会全体として論点を整理・共有する取組みに課題がある」というものです。「議員間討議」については、先般の「全国市議会議長会研究フォーラム」で「議員間討議の拡充」というテーマで、「質問より議員間討議を」ということを学びました。現在の議会の最大問題は、執行機関への質問・追及が中心となっているが、ここに議員間討議を組み込むべきで、重要議案の採決前に議員間討議を行うというものです。こうした点について、副議長として全員協議会等の進行役を務めさせて頂いていることを考慮する時、今後の議会運営における職責としての課題であると捉える必要があると思っているところです。また、「自由闊達な討議」の取りまとめとしての「会派」が存在しないことは反省材料という意見もあり、今後において、議員全員で協議・検討していく必要があることも認識しているところです。

更には、「議会改革の視点」として、①住民に対しては、対話・民意の吸収、②議員に対しては、自由な討論・チーム議会、③首長に対しては、議案審査・議決の質向上、の3点を中心に、議会全体で取組み、活動できたらと考えています。また、議会改革には、「政策サイクル」を実現することが重要事項と認識し、議員皆様と一丸となって、いわゆる「議会が一枚岩」となって取組みを進める役目を担っていると思っています。目指す「政策サイクル」は、①年間を通じて、重要事業の執行を視ていくこと（監視）、②その事業が市の課題に対して有効だったか診ていくこと（評価）、③そうすることで、次の改善策も見えてくる（改善）、という3点です。更に、前述の「議員間討議」について、「討議の基本は対話」であることを認識し、「討議とは何かをつくる作業で、問題点を修復または埋めること」を議会全体で共有して今後に活かせればと思っています。

最後に、副議長として残り2年の在任期間で、今期の議会が真に議員の合議体になるように、皆様のご理解・ご協力を賜りながら、「持続可能な安芸高田市」・「住みよいまち安芸高田市」を目指すことを念頭に、努力致していくことを申し述べさせて頂き、私の所信表明と致します。

何卒、宜しくお願い申し上げます。